



ビオトープの 生きもの図鑑

ビオトープには季節によって、種類の異なる様々な生きものが現れます。野生の生きものなので、人の気配がすると逃げてしまうかもしれません。そっと近づいて観察してみましょう。



ニホンイシガメ

日本固有種。アライグマなどによる捕食や生息地の減少により個体数が減っている。6~8月、土の中に産卵する。



産卵中のニホンイシガメ

魚 Fish



ミナミメダカ

背中の中央に暗色の縦筋がある。群れで泳ぐ。



カワバタモロコ

希少な淡水魚。ビオトープの池で繁殖している。



ウシモツゴ

愛知・岐阜・三重の伊勢湾流入河川とその周辺のみ分布する。



オイカワ

5~8月にはオスの体に婚姻色である青緑とピンクが表れる。

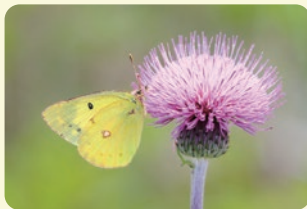
昆虫

Insect



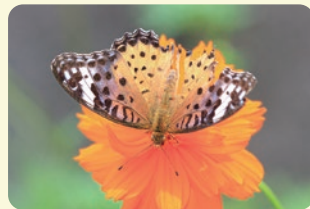
アゲハチョウ

身近なチョウの代表格。幼虫は柑橘類などの葉で育つ。



モンキチョウ

オスの翅は黄色、メスは白色・黄色の模様がある。



ツマグロヒョウモン

もとは南方のチョウだが、温暖化の影響や鉢植えに紛れて広がった。



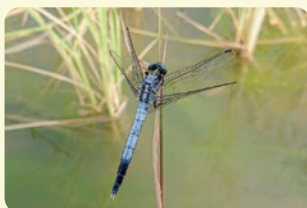
ショウリョウバッタ

メスの大きさはオスの倍くらい。緑色と褐色のものがいる。



ショウジョウトンボ

池や湿地、水田などのほかに市街地でも見られる。



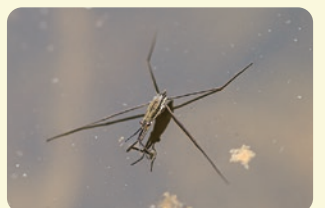
シオカラトンボ

雄は縄張りを占有し、草の上などに静止して警戒する。



アオモンイトトンボ

池沼や水田などで広く見られる。生息場所からあまり離れない。



アメンボ

冬は水辺を離れ、土中などで越冬する。



鳥 Bird



スズナ

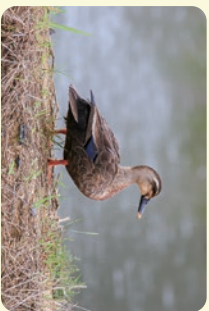
夏に比べ、冬は防寒のため羽がふわふわする。



カクセミ

ビオトーブでは早朝、ごく稀に姿が見られる。

見られたらラッキー！



カルガモ

市内の河川や用水路で見られる。ビオトーブでは稲を食べる困り者。



ハクセキレイ

開けた空間を好む。波を描くように飛ぶ。

Tree 樹木

原寸大の樹木の葉です。ビオトーブのどこに生えているかな？ここに載っていない樹木も探してみよう！



ケヤキ

コナラ

カクヤナギ



エリキ

イチヨウ



モミジ



エノコログサ

夏から秋にフラス状の穂をつける。



リアザミ

花は赤紫色や淡紅色のほか、白色もある。葉に棘がある。



ガガクタ

7～9月に多数の白い花を咲かせる。



カクラナデシコ

5～10月にピンク色の花を咲かせる。



ヒメガサ

多年草の抽水植物。円柱状のものは穂。



ミヤコガサ

かつては矢作川の土手にも見られたが減少している。



ヨモギ

夏から秋に目立たない小さな花をつける。



ヒルガオ

つる性で色々なものに巻き付く。



アラカシ



アベスギ

